

元オリンピック選手でクラブ創設・経営・指導者の桑田健秀さん (NPO 法人地域総合スポーツ倶楽部ピボットフット 東京都大田区)

1. バスケットボールの華麗な経歴

桑田さんは、東京都大田区の中学校でバスケットボールを始め、慶應義塾高校在学時に全日本ジュニアに選出されました。その後、慶應義塾大学に進み、1973年夏季ユニバーシアードに出場しました。

大学卒業後は、日本鋼管（NKK）に入社。1976年にはモントリオール五輪に出場するなど全日本で11年間プレーをし、NKKでも日本リーグ1度、全日本総合バスケットボール選手権（通称オールジャパン）2度の優勝に貢献しましたが、1983年に現役を引退し、バスケットボールからも離れました。

その後、バスケット界に復帰。1990年から1992年まで男子全日本ジュニアチームのコーチに就任し、アジアジュニアでの優勝から世界ジュニアに出場しました。1997年にバスケットボール日本リーグ機構（JBL）が発足され、1998年に常務理事に就任しました（2002年退任）。



2. クラブ創設、日本リーグのヘッドコーチも

90年代頃より、実業団チームの廃部や休部、学校部活動の衰退などが起こり、アマチュアスポーツに危機感を覚え、さらに、バスケットボールのプロ化に奔走し、ビジネスとしてのスポーツにかかわりを持ったことがきっかけとなり、2003年NPO法人地域総合スポーツ倶楽部ピボットフット（以下、ピボットフット）を設立しました。

また、2005年W1リーグ（女子バスケットボール日本リーグ）に所属するエバラヴィッキーズのヘッドコーチに就任し、2008年「チャレンジ!おおい国体」バスケットボール競技での優勝へと導きました。

現在は、ピボットフットの理事長、SC全国ネットワーク副幹事長、大田区スポーツ推進審議委員会委員など数々の要職に就き、多忙な毎日を送っています。

3. 選手と地域をつなげる、本物を提供する

桑田さんは、スポーツが多くの喜びと感動を得られることから、スポーツ振興を通して、地域に独自のスポーツが行える環境づくりとその運営を行うために、ピボットフットを設立しました。スポーツが多くの交流を生み、地域に夢と感動と、希望を提供することを目指して、ピボットフットは、講師派遣や地域行事への協力など、年間850回のスポーツ教室を開催しています。

総合型地域スポーツクラブは地域の顔であり、その使命のひとつとして、「プロスポーツ選手とアマチュアとして活躍する多くのスポーツ愛好者を地域ネットワークでつなげることだ」と桑田さんは言います。

多くのスポーツ教室には、基本技術や安全管理について、正しく教えてくれるインフラが整っていないため、ピボットフットでは地域のクラブとして「本物を提供する」ことで子どもたちの意欲に応えて、指導者の派遣、選手との交流会を企画しています。



4. トップチーム・選手の応援で、夢や感動のやりとり

企業スポーツを支援する啓発事業を行政から受け、クラブが事業を主管したことがきっかけとなり、地域で企業スポーツを支えるシステムが整ってきました。自らもヘッドコーチとして指導をする荏原製作所女子バスケットボール部「エバラヴィッキーズ」と提携し、その応援団であるチアリーディングチームを結成しました。

見ているだけで楽しいチアや地元で地元のプロチームの試合を観戦できる喜びや感動が生まれ、その応援はプロスポーツ選手の心に響きます。相互に夢や感動のやりとりができるのです。

あわせて、アスリートのセカンドキャリアの受け皿の確保、スポーツ指導者育成やスポーツ以外の分野でも積極的に地域に雇用を生み出し、スポーツ選手が引退後も生活していける地盤をつくることを目指しています。ピボットフットが地域に質の高い指導者を派遣し、あわせて、スポーツ以外の分野でも積極的に地域に雇用を生み出しつつあります。



5. 「ピボットフット2011プロジェクト」の立ち上げ

さらにスポーツ界全体の環境がもっとよくなってほしいとの考えから、2011年文部科学省委託スポーツコミュニティの形成促進事業を受け、事業を実施することとなり、目的達成のための「ピボットフット2011プロジェクト」を立ち上げました。「トップアスリートの巡回事業」「地域課題解決への取り組み」「小学校体育活動コーディネーターの派遣」の3本の柱で活動を行っています。

地域に根ざし、スポーツ振興を通して、生活の充実、素晴らしい人間性の形成、交流が生まれる場づくり、明るく元気な社会づくり・まちづくりに貢献し、夢と感動と希望を提供しています！

(小内清子 東京都クラブ育成アドバイザー)

【NPO法人地域総合スポーツ倶楽部ピボットフット プロフィール】

1. 設立

設立年月日：平成4年12月26日

2. 地域

人口：東京都大田区 694,090人（平成24年1月現在）

特性：羽田空港があり、物流拠点が多くある。

3. クラブ

会員数：425名（平成23年3月末日現在）

4. 連絡先

〒168-0063 東京都大田区中馬込 1-1-17-504

TEL&FAX：03-3776-5113

URL：<http://p-foot.jp/>

関連リンク：小内清子氏プロフィール（ページ下）

<http://www.japan-sports.or.jp/local/outline/adviser/13.html>